

研究課題名	FilmArrayを用いた急性呼吸器感染症病原体の解析 ＝成人と小児の比較＝
研究機関名	武蔵野赤十字病院
研究責任者	所属 感染管理室・小児科 氏名 長澤 正之
研究期間	臨床研究倫理審査委員会承認後 ～ 2021年12月
研究の意義・目的	医療技術の進歩に伴い、一度に多種の病原体を検出するmultiplex PCR検査機器が臨床現場に広がりつつある。それにより従来では原因病原体が不明であった呼吸器感染症の原因病原体の検索が可能となった。2019年度末から世界でpandemicとなったSARS-CoV2もそのパネルに含まれており、multiplex PCR検査の有用性は広く日本中にひろまってきている。Multiplex PCR検査による急性呼吸器感染症の病原体検索は臨床研究として小児科領域を対象としていくつか報告されているが、小児・成人を広く扱って検討された報告は未だ少ない。地域における急性呼吸器感染症の実態を調査するとともに、小児と成人における急性呼吸器感染症の疫学的相違点や類似点を検討することで、感染症の流行実態を把握するとともに公衆衛生学的な検討を行い予防医学への貢献を目指す。
研究の方法 (対象期間含む)	方法:後ろ向き(一部前向き)調査観察研究 対象期間・対象・調査項目:2020年11月から2021年10月の期間に、急性呼吸器症状を呈して当院を受診し、鼻咽頭検体を持ちいたmultiplex PCR検査をうけた患者を対象とする。Multiplex PCR検査機器はFilmArray(ビオメリュー社)を用いて行う。FilmArray呼吸器パネルが扱う病原体は、アデノウイルスコロナウイルスHKU1, 229E, OC43, SARS-CoV2、インフルエンザ A, A/H1, A/H1pdm, A/H3, B、パラインフルエンザ1, 2, 3, 4, RSウイルス、ヒトライノウイルス・エンテロウイルス、ヒトメタニューモウイルス、百日咳、クラミジア・ニューモニエ、マイコプラズマ・ニューモニエの20種。利用する情報は ・患者年齢・FilmArray検査結果・感染経路に関わるカルテ情報
①試料・情報の利用 目的及び利用方法 (匿名加工する場合や 他機関へ提供される場 合はその方法含む) ②利用し、又は提供す る試料・情報の項目 ③利用する者の範囲 ④試料・情報の管理 について責任を有す る者の氏名又は名称	①後ろ向き(一部前向き)調査観察研究であり、臨床検査データベースより情報を収集し統計学的解析を行う ②調査項目:検体採取日・multiplex PCR検査結果・患者年齢・感染経路に関するカルテ情報 ③感染管理室:長澤正之、加藤智之、小児科:中川竜一、総合診療科:梶原秀樹、リハビリテーション科:杉田陽一郎 ④感染管理室・小児科 長澤 正之
問合せ先	当研究に自分の試料・情報利用を停止する場合等のお問い合わせ 〒180-8610 東京都武蔵野市境南町1-26-1 武蔵野赤十字病院 所属 感染管理室・小児科 氏名 長澤 正之 TEL:0422-32-3111(代表)6812(事務局内線) FAX:0422-32-3525